

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	22224011	研究期間	平成22年度～平成26年度
研究課題名	分子地球化学：原子レベルの状態分析に基づく地球と生命の進化史の精密解析	研究代表者 (所属・職)	高橋 嘉夫 (広島大学・大学院理学研究科・教授)

【平成25年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A- 当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)	
<p>本研究は、古海洋の酸化還元状態の変化に伴う微量元素の溶存性の変化を、精密な化学種解析によって明らかにし、その生命進化における役割も理解することを目的とした研究である。</p> <p>これまでのところ、海洋環境でのモリブデンの同位体分別メカニズムの解明、古海洋の酸化還元トレーサーとしてのセリウム安定同位体比の提案など、いくつかの重要な成果が上がっており、研究は概ね順調に進展している。しかし、天然試料を用いた研究については、当初計画した海外の試料入手が困難になりやや遅れが生じているが、代替試料の使用を検討しているので、研究の進展に大きな問題とはならないと判断できる。こうした点を勘案して、「A」と評価した。</p>	